

年休取るのは当たり前じゃん

**あなたは自分の休みを会社に取りられたことはありませんか？
年休を断られたとき会社に権利を奪われたのです！**

「申し込んだ年休が取れなかった」これは会社に有給を奪われたということです



空港で外国人に何しに日本に来たか尋ねるという番組があります。彼ら彼女らは実に長い休暇をとって日本にやってきます。今、私たちがこのようなことができるでしょうか考えてみてください。

何をばかな？と思ってる人、海外人たちから見れば休みも断られ働く私たちの方がおかしく見えているのかもしれない

会社ありきのライフスタイルを見直そうではありませんか。心身共にリフレッシュするために年休があるのです。会社の都合で付与されるものでなく自らの意志で取得するものです。しかし、現実には申し込んでも簡単に出されることはありません。さらには、失効する事態にもなっています。自分の都合のよい日に休みが出ないことがすでに、年休の本質から外れているのです。

プレミアムフライデーという茶番

経済通産省と日経連が、今回スーパーフライデーと銘打って、いつまでたっても冷え込んだ消費に、個人消費喚起のため月末の金曜15時までに会社を終え旅行や家族で食事などをして個人消費拡大につなげるというものを推奨しています。実際、大企業や公務員など実現可能な会社は一部に限られているなど、大多数の中小企業にとって何の役にもたっていないのです。先にも述べたように休暇は疲れた体を心身共にリフレッシュするものであって、経済発展の一環ではありません。

年休が出ないのは会社の怠慢

日本人は休みに対してこだわりが薄い人種といわれています。勤勉とかまじめとかの美名に隠れ会社にいいように使われていませんか？いつでも休みが取れる要員配置ができないのは会社の怠慢でしかありません。ましてや年休を流す事態は許されるものではありません。

**会社は年休100%取得にむけ努力を！！
会社ありきのライフスタイルを変えよう**